

高校生 サバイバー5

高校内「居場所」は、高校生にとってどのような場所なのか。
神奈川県の事例や、居場所を利用していた卒業生の声を
もとに、新しい高校生支援の「カタチ」を発信します。

2018年

日 時

12/19 (水) 18:30-20:30

会 場

ドーンセンター

参加費

1,500 円

大阪市中央区大手前1丁目3-49

※開催費用を差し引いた収益金は、各居場所の運営費として活用させていただきます

申 込

facebook

申込フォーム



問合せ

koukousei.surviver@gmail.com

ゲストスピーカー

石井 正宏さん

(NPO 法人パノラマ代表理事)



ひきこもり状態にある若者を支援する東京都のNPO法人で10年間支援を経験し、ひきこもる前の若者への予防的支援に取り組むため、平成21年に株式会社シェアするココロを設立。

その後、課題集中校や教育困難校と呼ばれる高校の中退や進路未決を予防的に支援するためNPO法人パノラマを設立し、有給職業体験プログラム「バイトーン」及び校内居場所カフェ事業の運営を行う。

プロ グラム

I 部 ゲストスピーカー講演

NPO 法人パノラマ代表理事 石井正宏さん「全国に居場所カフェを！」

II 部 公開ディスカッション

登壇者：居場所事業受託団体

高校内居場所は生徒にとってどんな場所なのか、当時の心境を元高校生サバイバーの「語り」をベースに進めて行きます。

在校生からの
メッセージもお届けします

III 部 学校と民間団体とのパネルディスカッション

登壇者：西成高校 山田勝治校長、教員、居場所事業受託団体

I・II部の内容を踏まえて、学校全体で取り組める高校生へのサポートについて意見を交わします。



企画趣旨

平成25年度から、大阪府で「高校中退・不登校フォローアップ事業」がスタートし、翌年度には府内8校の府立・私立高校を対象に、「高校内居場所」活動を中心に事業が拡大しました。教育庁の「課題を抱える生徒フォローアップ事業」として平成29年度に再出発した「高校内居場所」も6年目（事業の原型である西成高校の居場所は7年目）を迎えています。

居場所事業2年目より毎年開催しているフォーラムは、高校生サバイバーの“今”を発信する場であり、学校と地域や支援団体が、よりよい連携の在り方を模索する機会となっていました。開催初年度には、複数のメディアにも取り上げられ、高校生たちの現状を広く知つてもらえることにも繋がりました。

今回のフォーラムでは、高校生たちの声を参加者に届けるだけでなく、高校の現状・課題を教員の方々にもお話しいただきながら、今の教育現場で生徒のためにできることが何かを改めて検討していく場についていきます。

学校の中につくる 生徒の居場所

居場所カフェは、校内の空き教室や相談室、図書室などを活用して運営されています。無料のドリンクとちょっとしたおやつがある、カフェのような居場所には、先生ではない大人（支援者やボランティア）がいます。軽快な音楽が流れる空間で、生徒はコーヒーやジュースを飲みながら、恋愛のことやアルバイトのことを大人と話したり、友達同士でカードゲームをしたり、一人で雑誌を読んだりして過ごします。そこは生徒達にとっての安心・安全な場所であり、知らなかった価値観や文化との接触の機会でもあります。また、生徒からポロッとこぼれる言葉が、本人の抱えるしんどさを大人に伝え、支援が動き出す場所でもあります。

①安心・安全な居場所②文化との接触③個別のソーシャルワーク支援、の3つのコンセプトをベースに、高校内居場所が各校で様々ななかたちで実施されています。



高校内「居場所」の特徴

西成高校



一般社団法人 office ドーナツトーク

大正白稟高校



NPO 法人 FAIR ROAD

高校の中にある生徒のための「居場所カフェ」

授業前や給食時間、放課後の空き時間にオーブンしている、生徒が無料で利用できるカフェ。 桃谷高校



NPO 法人み・らいず2

サポートが必要な生徒に支援を届ける「居場所」

ほっとするだけではなく、何でも相談にのれる場所です。先生に連れられてやってる生徒もいれば、人が少ない時間を選んでやってくる生徒も。生徒たちの語りに耳を傾け、必要であれば先生と協力してサポートしていく、生徒たちの新しい校内セーフティネットを目指しています。

茨田高校



NPO 法人あそと

北淀高校



一般社団法人こもれび

その他 居場所の運営団体

- 一般社団法人キャリアブリッジ
- NPO 法人おおさか若者就労支援機構
- NPO 法人子ども・若もの支援ネットワークおおさか
- NPO 法人 D×P
- NPO 法人やんちゃまファミリー with
- にしなり若者応援事業 共同企業体



有識者からのメッセージ

大阪教育大学
新崎 国広先生

学びは、出会いと対話で深化する。様々な出会いであなたが変える！
あなたが変われば、社会が変わる！ You can do it.

桃山学院大学
安原 佳子先生

一休み、安心、ストレス解消、つながり……
「居場所」の役割は一言では言えません。でも、そんな「居場所」があるから、生徒さんたちはエネルギーが切れても充電でき、また動きだせるのです。

高校生サバイバー5

- 日時：2018年12月19日（水）18:30-20:30
- 会場：ドーンセンター
- 参加費：1,500円
- 申込：表面のQRコードより



〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3-49

京阪「天満橋」駅、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅1番出口から東へ約350m。
JR東西線「大阪城北詰」駅2番出口から西へ約550m。